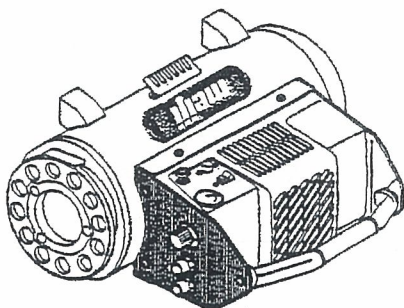


STALLION

meiji

オイルフリーエアコンプレッサ 取扱説明書



(MODEL)	STALLION-5	(50Hz)
	STALLION-6	(60Hz)
	STALLION-56	(50Hz/60Hz)

この度は明治のオイルフリーエアコンプレッサ【スタリオン】をお買上げいただき厚くお礼申し上げます。ご使用にあたり、この取扱説明書をよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法などについて充分ご理解の上、適切な取扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に効率よくお使いいただきますようお願い申し上げます。尚、この取扱説明書はお手元に大切に保管の上ご活用下さい。



株式会社 明治機械製作所

コンプレッサを安全にお使いいただくために

この取扱説明書では安全注意事項のランクを「危険」「注意」とし区分してあります。



危険 : 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意 : 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合。

なお、**注意** に掲載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重大な内容を記載していますので必ず守ってください。



危険

【全般】

- ガソリン・ガス・塗料・接着剤等、引火性のある危険物の近くでは、引火、爆発の恐れがありますので使用しないでください。
- 運搬、装置、配線、運転、操作、保守・点検の作業は、専門知識のある人が実施してください。感電、けが、火災等の恐れがあります。

【配線】

- 本機はシングル絶縁構造です。必ず接地（アース）してご使用ください。また接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の接地された電源に接続されますことを推奨します。
- 同一電源での他の電動工具の併用（タコ足配線）はしないでください。火災等の恐れがあります。

【設置】

- 本機を使用する際は必ず横置きに設置して使用してください。
- 雨中、漏れた所、湿った所、機械内部に水や油の入りやすい場所では使用しないでください。

危険

- 機械の風窓はモータやシリンダ周辺などを冷やすために必要な部分です。ふさいだりしますと、モータの損傷等の原因となりますので、ふさがないでください。
- コードを無理に引っ張ったり、曲げたり、はさみ込んだりしないでください。
- コードを熱・油・薬品および傷つけやすい物から保護してください。

【運転】

- 電源は必ず銘板に表示してある電源および周波数でお使いください。
- コードやプラグが破損した場合は、本機を作動しないでください。
- 大気中の空気以外の流体を送らないでください。
- いかなる空気ノズルまたは塗料ガン等を人または身体の一部に向けてしないでください。
- 運転中および直後のモータ・シリンダ周辺は、空気の圧縮熱のため高温になっています。ふれないでください。また運転直後に運搬するときは、身体に触れないようにしてください。
- ご使用後および運搬時は、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 停電の際は、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 作業中は、保護メガネをご使用ください。安全弁やドレンコックから圧縮空気が吹き出したときに危険です。

【保守・点検】

- 点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 修理はご自分でなさらないでください。
修理については、お買上げの近くの当社販売店にお問合わせください。



危険

- 分解しないでください。誤った分解または修理は感電、破損の危険にさらされることがあります。
- 雨中での使用、水にぬれた状態では使用しないで下さい。



注意

【全般】

- 空気以外の気体を圧縮しないでください。感電、けが、破損などの恐れがあります。
- 銘板は常に見える様にして下さい。傷害物を置いたり、銘板を取り外したりしないようにしてください。
- 銘板が破損、剥離、退色して見えにくくなった場合は速やかにお買い求めの当社販売店にご連絡ください。
- お客様による製品の改造は、当社の保証範囲外ですので、責任を負いません。

【配線】

- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
- 延長コードをご使用の際は、アース中継線を備えた3芯コードを使用してください。
- コードを引っ張ってプラグを電源から抜いたりしないでください。

【設置】

- 子供または病人がいる付近で本機を使用する場合はよく監視してください。子供には、ふれさせないでください。
- 機械の風窓には指または如何なるものも落としたり、挿入したりふさいだりしないでください。
- 本機は横にして、安定させた状態で使用して下さい。



注意

- 平坦な場所にズレ止めを設けて設置してください。傾斜のある高所で使う場合は、確実に固定してください。
- 十分に換気されている場所でのみ使用してください。

【運転】

- いかなる工具または付属品も、最高気圧を設定する前には使用しないでください。
- 異常が発生した場合は直ちに運転を停止してください。感電、けが、火災の恐れがあります。
- エアホースは耐熱温度 70℃ 以上、耐圧 0.98MPa (10kgf/cm²) 以上のホースを使用し、エアプラグは「明治のクイックジョイント PHK-22、SM-12」をご使用ください。

【修理・分解・改造】

- 修理・分解・改造は必ず専門家が行ってください。感電、けが、火災の恐れがあります。

【廃棄】

- コンプレッサを廃棄する場合は一般産業廃棄物として処理してください。

目 次

ページ

1. 点 検	6
2. 服 装	6
3. 主要機能	6
4. 配 線	7
5. 設 置	8
6. 各部の名称	11
7. 運 転	11
運転前の点検・確認	11
ご使用について	12
ご使用後および運搬について	13
8. 保守・点検	13
オーバーカレントリレーについて	13
保守・点検	13
運転中の異常について	
給油について	
保管	
9. 修理・分解・改造	14

1. 点 検

コンプレッサがお手元に届きましたらまず次の点をご確認ください。

① 銘板の出力、電圧、周波数などがご注文どおりのものか。

② 輸送中の事故などで破損していないか。

もし不都合なところがあれば販売店へご連絡ください。

2. 服 装

作業に適した服装で！

- 作業時は作業に適した服装をしてください。また作業環境により、安全靴、保安帽、マスクなどもご使用ください。
- 作業中は、保護メガネまたはゴーグルをご使用ください。安全弁やドレンコックから圧縮空気が吹き出したときに危険です。

3. 主要機能

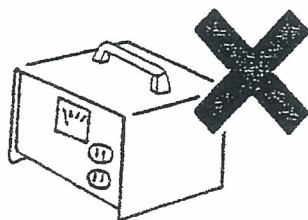
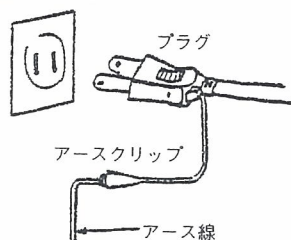
形 式	STALLION-5	STALLION-6	STALLION-56
電 動 機	単相誘導電動機		
使 用 電 源	AC100V-50Hz	AC100V-60Hz	AC100V-50Hz/60Hz
負 荷 電 流	13 A		
出 力	825 W		
周 波 数	50 Hz	60 Hz	50 Hz / 60 Hz
最 高 使 用 圧 力	0.96 MPa		
吐 出 空 気 量	75 L/min(0.68 MPa)		65L/min/50Hz・75L/min/60Hz
運 転 方 式	圧力スイッチ式(スターチングアンローダ内臓式)		
シリンダ'径×行程×シリンダ'数	62×33×1	62×29×1	62×29×1
空 気 タ ン ク	12 L		
概 略 寸 法	495(全幅)×418(奥行き)×230(高さ)		
質 量	22.5Kg		
空 気 取 出 し 口	クイックジョイント×2ヶ所(20SM+SM-12)		
電 源 コ ー ド	2芯コード(プラグ付)×1.8m		

※仕様は予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。

4. 配 線

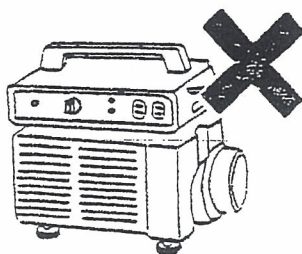
- 必ずAC100Vコンセントで使用してください。指定電圧以外の使用は故障の原因だけでなく発火・発熱の危険性がありますので絶対にしないでください。
- 本機はシングル絶縁構造です。必ず接地（アース）してご使用ください。
また、接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に接続されますことをおすすめします。
- 接地する場合は、プラグの横から出ているアースクリップを使用されると便利です。アースクリップやアース線に、異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたらアースクリップと機械本体の金属部間導通を確認してください。アース線をガス管に接続すると、爆発の危険性がありますので絶対にしないでください。
- アース棒やアース板を地中の埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
- 漏洩しゃ断器や接地については、次の法規がありますのでご参照ください。
労働安全衛生規則 （第 333 条・第 334 条）
電気設備の技術基準（第 18 条・第 28 条・第 41 条）
- 本機の電源の昇圧機などのトランス類は使用しないでください。故障や焼損の原因になります。

電源コンセント AC100V



- エンジン発電機や直流電源では使用しないでください。

詳しくは、お買い求めの販売店
又は弊社担当者のお問い合わせ
ください。



- 延長コードが必要なときは、電圧降下を防ぐために、十分な太さのコードをできるだけ短くご使用ください。

使用できるコードの太さと最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm ²	15m
2.00mm ²	30m

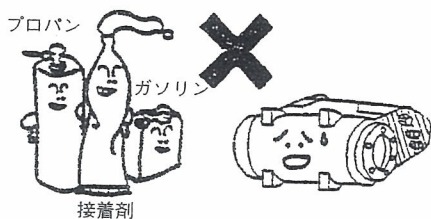
- 延長コードは、アース中継線を備えて3芯コードを使用してください。
- プラグを入れたまま、本機を放置しないでください。
- 濡れた手で電源プラグ等を持つと感電する恐れがありますので絶対に触れないでください。



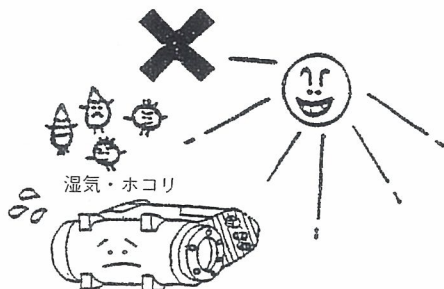
5. 設 置

- 本機の運転、保守点検の容易な充分なスペースのある所に設置してください。本機を良好な状態で使用するには日常の点検と整備が大切です。狭く暗い所に放置しますと、日常点検がおろそかになり、異常に気付かず事故になることもあります。

- ガソリン・ガス・塗料・接着剤
等、引火性のある危険物の近く
では、引火、爆発の恐れがありま
すので使用しないでください。

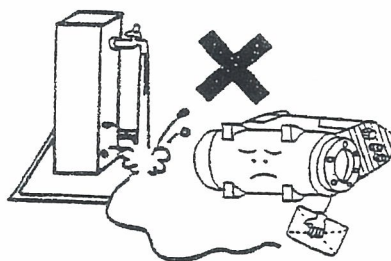


- 室内で塗料などをする場合には、十分換気を行ってください。
- 清浄な空気が吸入できる場所に設置してください。ほこりの多い所ではフィルターの目詰まりにより空気量の低下やシリンダの摩耗、ベアリングの寿命を短くします。

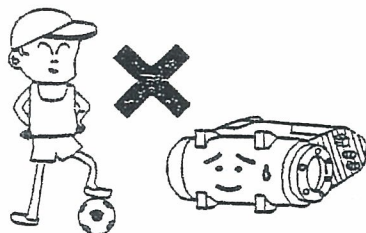


- 高温になる所、直射日光のあたる所を避け、風通しのよい日陰置などに設してください。

- 湿気はモータなどの電気絶縁性を低下させ、感電事故のもとになります。雨中、濡れた所、湿った所、機械内部に水や油の入りやすい場所では使用しないでください。

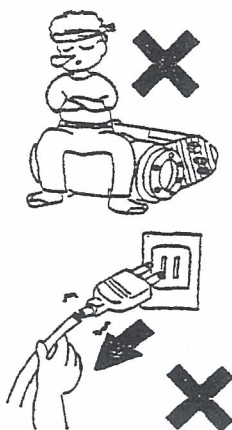


- 作業場所には関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険ですから注意してください。子供には本機をふれさせないでください。

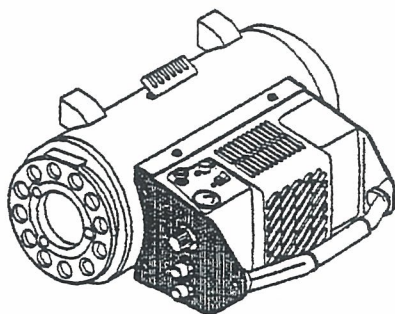


- 移動や落下の危険性のある場所では絶対に使用しないでください。

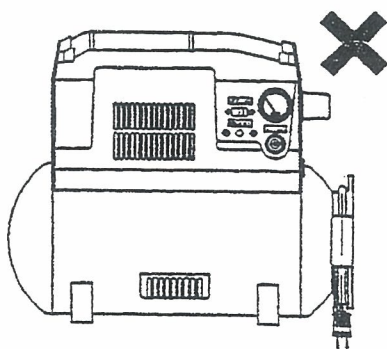
- 機械の風窓は、モーターやシリンダ周辺などを冷やすのに必要な部分です。ふさいだりしますと、モーター焼損の原因となりますのでふさがないでください。
- 機械の風窓には、指または如何なるものも落としたり、挿入したりしないでください。
- 本機の上に座ったり、ものを乗せることは絶対にしないでください。
- コードを引っ張ってプラグを電源から抜いたりしないでください。
- コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、はさみ込んだりしないでください。



- コードを熱・油・薬品および傷つけやすい物から保護してください。
- 本機を運転する際には必ず横置きに設置して使用してください。縦置きで使用しますと転倒、破損等事故の原因となります。



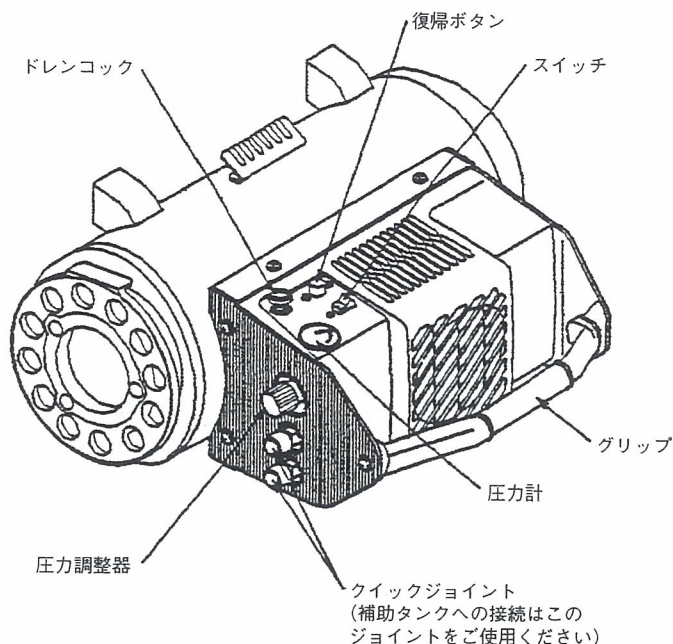
(横置き)



(縦置き)

- 騒音に関しては、法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。周辺に迷惑かけぬよう、規制値以下で使用されることが必要です。状況に応じ、遮音壁に設けて作業してください。

6. 各部の名称



7. 運 転

■運転前の点検・確認

- ・電源は必ず銘板に表示してある電圧および周波数でお使いください。
- ・各部のボルトやネジにゆるみがないことを確かめてください。
- ・スイッチが切れていることを確かめて、アースクリップを設置してからプラグを電源に差し込んでください。
- ・ドレンコックを緩め全開にして、スイッチを入れてください。
- ・ドレンコックから空気が出ていることを確かめてください。
- ・ドレンコックを締め、圧力調整器のノブを右へ一杯まで回してください。
- ・タンク内に圧力空気が充填され、圧力計の指針が上昇します。この時に異常音や異常振動がないことを確かめてください。

- ・ 圧力計の指針が $0.88 \sim 0.96 \text{MPa}$ ($9 \sim 9.8 \text{kgf/cm}^2$) を示すと圧力スイッチにより機械は自動的に停止します。
- ・ ドレンコックを少し緩め、圧縮空気を徐々に抜きます。圧力計の指針が $0.69 \sim 0.78 \text{MPa}$ ($7 \sim 8 \text{kgf/cm}^2$) を示すと、再起動するか確かめてください。
- ・ ドレンコックを締め、再び空気を充填してください。
- ・ 機械が停止したら、スイッチを切りドレンコックより圧縮空気を抜きます。

上記のような異常を発見した場合には、お買上げ販売店にご連絡ください。

■ ご使用について

- ・ スイッチが切れていることを確かめて、アースクリップを設置してからプラグを電源に差し込みます。
- ・ ドレンコックを締めスイッチを入れます。
- ・ タンクに圧縮空気が充填されますと圧力調節スイッチが作動してモータは自動的に停止します
- ・ 圧力調整器により希望圧力に調整してください。ノブを右へ回すと圧力が高くなり、左に回すと低くなります。
- ・ 希望圧力に調整できましたら、エアーホースをクイックジョイントに接続してください。

※エアーホースは耐熱温度 70°C 以上、耐圧 0.98MPa (10kgf/cm^2) 以上のホースを使用し、エアプラグは「明治のクイックジョイント PHK-22・SM-12」に相当するものをご使用ください。

- ・ エアホースにエア工具を接続し作業を開始してください。

※異常が発生した場合は直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。感電、けが、火災の恐れがあります。修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。

■ご使用後および運搬について

- ・ご使用後および運搬時は、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- ・停電に際も、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
- ・ドレンコックを緩め、タンク内の圧縮空気と水を全部抜いてください。
- ・運転時および使用直後のタンク等は空気圧縮熱のために高温になっています。運搬は機械が冷えてから行ってください。

8. 保守点検

※点検・設備の際には必ずスイッチを切り、プラグ電源から抜いてください。

■オーバーカレントリレーについて

本機は過電流が流れるモーターを保護するためにオーバーカレントリレーが作動し、モータが止まります。これは同一電源での他の電動工具の併用、または細かいつなぎコード、長すぎるつなぎコードの使用等が原因と考えられます。オーバーカレントリレーが作動した場合は、上記原因を取り除き、モータが十分冷えてから復帰ボタンを押してください。

電源・配線に問題が無いのにオーバーカレントリレーが作動する場合は、機械の故障が考えられます。お買い求めの当社販売店にご連絡ください。

■保守・点検

—運転中の異常について—

- ・電源スイッチを入れてもモータがうなって運転できない。
- ・適切な電源なのにオーバーカレントリレーが頻繁に作動する。
- ・エアを消費しないのにごく短時間で再起動したり、機械から空気が漏れる音がする。

- ・ 空気漏れがなく、タンク内の圧力を0から0.88MPa(9kgf/cm²)まで上げるのに、約2分以上かかる。
- ・ 安全弁が作動し空気が吹き出す。
- ・ 正常にモータが運転されているのに、圧力が上昇しない。
- ・ ファンが回転しない。
- ・ 異常音がする。

上記のような異常を発見した場合には、お買上げの販売店にご連絡ください。

—給油について—

- ・ 本機は乾式潤滑構造を採用していますので、給油の必要はありません。

—保 管—

- ・ 長期間ご使用にならない場合は、湿気などによりグリース寿命が低下しますので、月に一度ドレンコックを全開し、10分以上の無負荷運転を行ってください。

9. 修理・分解・改造

- 修理・分解・改造はご自分でなさらないで、必ずお買上げの販売店にお申しつけください。



株式会社 明治機械製作所

MEIJI AIR COMPRESSOR MFG. CO., LTD.

本社 〒532-0027 大阪市淀川区田川 2 丁目 3 番 14 号

TEL 06(6309)1221 FAX 06(6308)7047

ホームページアドレス <http://www.mejiair.co.jp>

お問い合わせはお近くの支店・営業所へ

東京支店 〒135-0042 東京都江東区木場 2 丁目 5 番 7 号 KHビル5階

TEL03(3642)0701 FAX03(3642)3200

名古屋支店 〒468-0045 名古屋市天白区野並 2 丁目 345

TEL052(896)1921 FAX052(896)6831

大阪支店 〒532-0027 大阪市淀川区田川 2 丁目 3 番 14 号

TEL06(6309)8151 FAX06(6309)8157

広島支店 〒731-0137 広島市安佐南区山本 1 丁目 9 番 6 号 サノード 101 号

TEL082(832)2258 FAX082(832)2289

福岡支店 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑 1 丁目 9 番 3 号

TEL092(587)1247 FAX092(502)6129

岡山営業所 〒703-8214 岡山市鉄 160 番地

TEL086(279)2853 FAX086(279)6460

北関東営業所 〒376-0013 群馬県桐生市広沢町 2 丁目 3064 番地の 1

TEL0277(52)3351 FAX0277(52)7880

静岡出張所 〒422-8035 静岡市駿河区宮竹 2 丁目 18 番地の 1

TEL054(236)5688 FAX054(237)6639

金沢出張所 〒920-0062 金沢市割出町 646 百山ビル

TEL076(238)6201 FAX076(238)9662



安全上の
ご注意

●ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●製品の改造および部品の製造は、機械の破損事故の原因となりますので絶対にしないでください。